

EU Indicators

欧州経済指標コメント：10-12月期英国GDP改定値

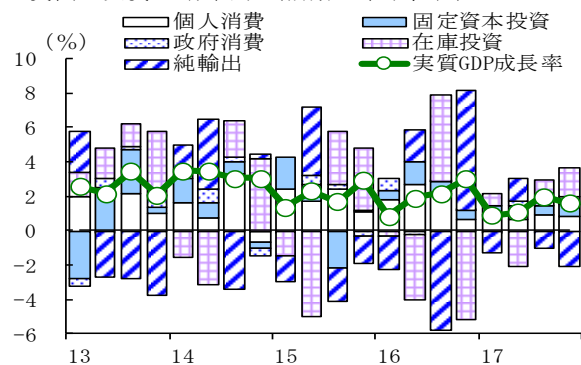
発表日：2018年2月23日(金)

～民需不在の成長～

第一生命経済研究所 経済調査部
 首席エコノミスト 田中 理
 03-5221-4527

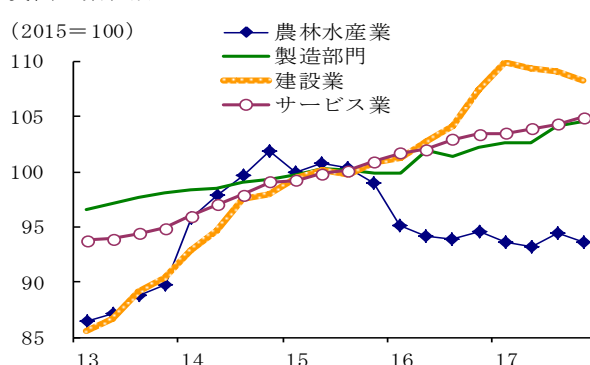
- 22日に発表された昨年10-12月期の英国の実質GDP成長率の改定値は前期比+0.4%、同年率+1.6%と、速報段階の同+0.5%、同年率+2.0%から下方修正された。7-9月期が速報値：同+0.4%→改定値：同+0.5%が小幅上方修正された一方、1-3月期が同+0.3%→同+0.2%が小幅下方修正され、2017年通年では+1.8%→+1.7%にやや下方修正された。
- 新たに発表された需要項目別の内訳は、個人消費（7-9月期：同+0.4%→10-12月期：同+0.3%）、政府消費（同横這い→同+0.6%）、公共投資（同▲1.7%→同+5.6%）、住宅投資（同+1.8%→同+0.6%）が成長を後押し。民間設備投資（同+0.9%→同横這い）と在庫投資寄与度（同+0.4%ポイント→同横這い）が横這い。純輸出寄与度（同▲0.2%ポイント→同▲0.5%ポイント）が下押し。
- 同期の成長は公的需要が牽引。名目雇用者報酬（同+0.6%→同+0.5%）の伸びが消費デフレーター（同+0.3%→同+0.7%）の伸びに追いつかず、実質雇用者報酬（同+0.3%→同▲0.2%）は4四半期振りにマイナス圏に転落。賃金を上回る物価上昇が消費抑制に働いている。民間設備投資の低迷は、EU離脱を巡る不透明感やエネルギー価格の上昇が影響した可能性がある。輸入の拡大が続くなか、輸出が3四半期振りに下落。過去4四半期のうち3回、外需は成長の足枷となっている。

■英国：実質GDP成長率（前期比年率、%）



出所：英統計局

■英国：業種別GDP



出所：英統計局

■英国GDP（前期比年率<%>、括弧内は寄与度<%ポイント>）

	名目GDP	実質GDP	内需				外需				
			個人消費	政府支出	固定資本投資	在庫	輸出	輸入			
15/10-12月期	1.4	2.9	(4.6)	1.8	▲ 1.4	0.5	(3.7)	(▲ 1.6)	7.6	13.3	
16/1-3月期	6.0	0.8	(2.8)	2.8	3.9	3.0	(▲ 7.0)	(▲ 1.9)	▲ 5.9	0.9	
16/4-6月期	4.8	1.9	(0.1)	4.2	▲ 1.0	8.2	(▲ 11.3)	(1.9)	11.7	4.1	
16/7-9月期	4.5	2.2	(8.0)	3.2	0.1	4.4	(0.2)	(▲ 5.8)	▲ 7.0	13.9	
16/10-12月期	5.3	3.0	(▲ 4.0)	1.1	0.1	2.7	(▲ 7.9)	(7.0)	22.6	▲ 3.9	
17/1-3月期	3.2	0.9	(2.2)	1.5	▲ 0.3	3.1	(▲ 2.0)	(▲ 1.2)	▲ 0.0	4.2	
17/4-6月期	3.1	1.1	(▲ 0.3)	1.0	1.6	4.8	(▲ 7.6)	(1.3)	7.1	2.1	
17/7-9月期	3.4	2.0	(3.0)	1.5	▲ 0.0	2.9	(▲ 1.4)	(▲ 1.0)	0.8	4.1	
17/10-12月期	2.8	1.6	(3.7)	1.3	2.3	4.4	(▲ 4.4)	(▲ 2.1)	▲ 0.8	6.3	

出所：英統計局

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。